



## ごあいさつ

盛夏の候 格別のご愛顧、お引立てを賜り有難く厚くお礼申し上げます。

2021年度の日本経済は、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだものの、感染力の強いオミクロン株の発生により、まん延防止等重点措置が断続的に実施されたことで、対面型サービス業を中心に厳しい状況が続きました。

また、ロシアのウクライナ侵攻に対する欧米をはじめとした経済制裁によって資源価格等が高騰し、消費者マインドに影響を及ぼしています。

稚内市を中心とする主営業地区においては、依然として新型コロナウイルスの影響が大きい飲食業が軟調だったものの、宿泊関連業の一部では風力発電電事業の工事が順調に進捗していること等により、比較的小さな影響に留まったところが見受けられたほか、水産関連業では水揚げが好調だったホタテを中心に魚価高となった影響もあり好調に推移しました。

このような経営環境の中、預金は期中平均残高で前期比1.97%増加、貸出金は、新型コロナウイルス感染拡大初期の資金繰り悪化懸念が落ち着いたこともあり、前期比1.27%減少となりました。

収益面では、収益環境が厳しい中、国債等の保有有価証券売却益を確保した結果、経常利益で6億58百万円、税引後の当期純利益は3億93百万円とすることができました。

剰余金処分の結果、地域経済を支える原資と位置付けております配当負担の無い利益剰余金は514億3百万円となり、自己資本比率も59.84%と高水準を維持することができました。

当地区は高齢化と急速な人口減少に依然として直面しておりますが、風力発電プロジェクトの進行、国および自治体による観光推進策、カーリング等スポーツ振興をきっかけとした交流人口増加など、今後の地域経済活性化が期待されております。

地域社会の持続可能性を高めるため、〈地元とともに繁栄します〉を掲げる信条の下、地域の皆さまと共に役職員一同不断の努力を傾注して参りますので、引き続き変わらぬご支援を賜りますよう衷心よりお願い申し上げます。

2022年7月

理事長 **増田雅俊**

## CONTENTS [主な内容]

P 1 信条・マークコンセプト

P 2 金融仲介機能のベンチマーク

P 4 人財

P 6 地域貢献・トピックス

P 9 お客さまとの相互交流

P 10 健全経営

P 12 自己資本

P 14 開示債権の状況

P 15 貸出金等の償却・引当基準

P 16 市場占有率

P 17 総代会機能

P 20 事業概況

## 《資料編》

P 25 第78期事業概況

P 42 自己資本の充実状況

P 53 事業のご案内

P 57 主な手数料一覧

P 59 稚内しんきんの概要

P 62 索引